

渡辺崋山を中心とする文人の書

田原市博物館

愛知県田原市田原町巴江11-3

0531-22-1720

特別展示室

期間: 令和元年11月23日(土)~1月19日(日)

| 作者 | 作品名 | 制作年 | 材質 | 員数 | 規格 | 備考 |
|--------------------|---|-------------|------|------|----|-----------------|
| 1 わたなべかざん 渡辺崋山 | とうめいびょうぶ 東銘屏風 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 二曲一双 | 屏風 | |
| 2 わたなべかざん 渡辺崋山 | とうめいびょうぶこう 東銘屏風稿 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 3 | 掛幅 | 個人蔵 |
| 3 わたなべかざん 渡辺崋山 | いんぶんちく 陰文竹 | 天保10年(1839) | 紙本 | 1 | 掛幅 | |
| 4 わたなべかざん 渡辺崋山 | たくぶんくんず 卓文君図 | 天保5年(1834) | 紙本淡彩 | 1 | 掛幅 | |
| 5 わたなべかざん 渡辺崋山 | しせんしゅくじゅず 芝仙祝寿図 | 天保4年(1833) | 絹本着色 | 1 | 掛幅 | |
| 6 わたなべかざん 渡辺崋山 | やせうます 瘦馬図 | 天保11年(1840) | 紙本淡彩 | 1 | 掛幅 | |
| 7 わたなべかざん 渡辺崋山 | かんこうそげんれいき 漢高祖見躰食其 | 天保2年(1831) | 絹本着色 | 1 | 掛幅 | |
| 8 わたなべかざん 渡辺崋山 | みのかさかいがさん 箕笠權画賛 | 江戸時代後期 | 紙本淡彩 | 1 | 掛幅 | |
| 9 わたなべかざん 渡辺崋山 | ジャンヌダーク像 | 江戸時代後期 | 紙本淡彩 | 1 | 掛幅 | |
| 10 わたなべかざん 渡辺崋山 | しよかん じゅうおうどうあて 書簡 十王堂宛 | 文政10年(1827) | 紙本墨書 | 1 | 掛幅 | |
| | すずきしょうえもんあて 鈴木庄右衛門宛 | 天保11年(1840) | | | | |
| 11 わたなべかざん 渡辺崋山 | むらかみさだひらあてしよかん 村上定平宛書簡 | 天保12年(1841) | 紙本墨書 | 1 | 掛幅 | |
| 12 わたなべかざん 渡辺崋山 | かざんおうごせいつしゅ 崋山翁五絶一首 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 掛幅 | 贈金子武四郎 |
| 13 わたなべかざん 渡辺崋山 | ちゅうしゅうほげつごごんりつし 中秋歩月五言律詩 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 掛幅 | |
| 14 わたなべかざん 渡辺崋山 | ちゅうしゅうほげつごごんりつし 仲秋歩月五言律詩 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 掛幅 | 個人蔵 |
| 15 わたなべかざん 渡辺崋山 | しゅんやしちげつ 春夜七絶 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 掛幅 | |
| 16 わたなべかざん 渡辺崋山 | じゃくえきじょうげんし 雀液上元詩 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 掛幅 | |
| 17 わたなべかざん 渡辺崋山 | せいめいびょうぶ 西銘屏風 | 天保9年(1838) | 紙本墨書 | 二曲一双 | 屏風 | |
| 18 わたなべかざん 渡辺崋山 | いっそうひやくたい 一掃百態 | 文政元年(1818) | 紙本墨書 | 1 | 冊子 | 重要文化財 |
| 19 わたなべかざん 渡辺崋山 | さんさいず え も 三才図会摸 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 冊子 | |
| 20 わたなべかざん 渡辺崋山 | ゆうそうきこう 遊相紀稿 | 文政4年(1821) | 紙本墨書 | 1 | 冊子 | 重要文化財 |
| 21 わたなべかざん 渡辺崋山 | たはらおんさんにんさま 田原御三人様宛 | 阿蘭陀風説書 | 紙本墨書 | 1 | 卷子 | |
| 22 わたなべかざん 渡辺崋山 | ふじむらふしあてせきとく 藤村父子宛尺牘 (4通) | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 卷子 | |
| 23 わたなべかざん 渡辺崋山 | てがきかん 手書巻 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 卷子 | |
| 24 わたなべかざん 渡辺崋山 | としまやくしどうむねふだのかい 豊島薬師堂棟札の解 | 天保12年(1841) | 紙本墨書 | 1 | 卷子 | |
| 25 わたなべかざん 渡辺崋山 | あつみぐんそんめいくじゅういつがそんゆらいし 渥美郡村名九拾壹ヶ村由来書 | 江戸時代後期 | 紙本墨書 | 1 | 冊子 | はこうじんじゃ 巴江神社 |
| 26 わたなべかざん 渡辺崋山 | よろずどめちよう 萬留帖 | 文政年間 | 紙本墨書 | 3 | 冊子 | 個人蔵 |

● 渡辺崋山 寛政5年(1793)~天保12年(1841)

江戸麴町田原藩上屋敷に生まれました。絵は金子金陵から谷文晁につき、伝統的な東洋画の画風に西洋的な陰影・遠近画法を加えた作品に評価が高い。40歳で藩の江戸家老となり、藩財政の立て直しを進めながら、江戸の蘭学研究の中心にいました。「蛮社の獄」で高野長英らと共に投獄され、在所蟄居となり天保12年に田原池ノ原で自刃しました。